

教育目標

自ら学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子

飯小は、この教育目標を理念に、「共に育ち、共に生きる 地域の学校」を目指します。

学校だより

上越市立飯小学校

明治9年8月17日開学

第6号 R2. 7. 31

## 1学期 ありがとうございます

学校の再開という形でスタートした1学期は、合計66日間となりました。年度当初の登校予定日数が73日間でしたので、7日間少なかったこととなります。

残念なことに、学校行事やPTA行事の延期、変更、対外試合や大会の中止、水泳授業の中止など、年度初めに予定していたことを行わない我慢の1学期でもありました。しかし、その分、学習は計画していた以上に順調に進み、昨年度末に学習できていなかった部分についても取り戻すことができました。

このような状況の中、子供たちは頑張りました。臨時休業や外出自粛の日々が続き、ストレスがたまらないはずはありません。そんな子供たちを見守る保護者の皆様も、多くのストレスを感じていたことでしょう。子供たちと一緒によく乗り越えてくださいました。ありがとうございました。

学校は再開しても、これまでの学校生活とは違う新しい生活様式で過ごさなければなりませんでした。マスク着用、教室の換気、児童下校後の消毒作業、校内放送や掲示物による感染防止の呼び掛けなど、様々な取組や工夫がありました。分散登校の際には、会えないクラスメイトにメッセージを残した教室もありました。また、PTA総会のWebによる議決、動画による授業参観、分散型授業参観、Zoom全校朝会など、新たな方式への挑戦もありました。

難しい点も多く感じてきました。特に、密集、密接の回避です。対話的な学習活動や休み時間になると、子供同士の距離は縮まります。本来、ソーシャル・ディスタンス（社会的距離）とは親密さの程度を表す言葉でしたので、縮まることはとてもよいことなのです。それが、密集・密接の回避を考えると、フィジカル・ディスタンス（身体的距離）は確保しなければなりません。子供たちにとって、この2つのディスタンス（距離）は、同じです。仲良く活動していれば、両方の距離が縮まってしまうのです。対話的な活動を通して子供たちの思考力を高めたいと考える教員にとって、子供同士の距離の調整は難しい課題でした。2学期も頑張ります。

さて、8月1日から27日まで、27日間の夏休みが始まります。子供たちには、避難訓練と防犯の日に「自分の命は自分で守る」という話をしました。さらに、感染防止の観点から言えば「自分の命を守ることが他者の命を守ることに繋がる」ということです。1週間ほど短くなった夏休みですが、まずは自分の健康と安全を考え、楽しい夏休みを過ごすことが、全校児童が楽しく2学期を迎えることに繋がります。皆様にとって、よい夏となりますことをお祈り申し上げます。

## 学校閉庁日

8月8日（土）から8月16日（日）の間は、閉庁日のため学校に日直職員がいません。そのため、電話や来校者への対応はできません。ご承知おきください。

緊急（入院を伴う大きな怪我や病気、PCR検査を受ける等）の場合は、担任又は、小島教頭（090-■■■■-■■■■）までご連絡ください。

